

令和6(2024)年度 FD委員会 活動報告

文責)近藤@R6年度委員長

【活動の方針】 R6 年度は以下の取組方針を掲げた。

- 大学教育の質の向上を目指した大学教員の資質開発
 - ・ FD活動の「量」から「質」への転換
 - ・ 授業改善の取組を日常的な業務として位置付けた能動的取り組み
- 自己点検・評価「基準Ⅲ-A 人的資源の課題」に向けたアプローチ
 - ・ 効果・効率を考えた各種FD研修活動の計画、実施による研究時間の確保
 - ・ 自身の業務と学修成果の獲得との関連付けた取り組み

【活動報告】 R6 年度の活動方針の下、以下の活動に取り組んだ。

1) 会 議

- ・ 全 9 回 (①4/17、②5/15、③6/13、④8/7、⑤10/7、⑥11/25、⑦12/16、⑧2/25、⑨3/21)

2) 授業公開・見学(前期／後期)

- ・ 学期単位の期間設定と公開・見学期間の自由化。毎月のリマインド配信や強化 WEEK の設定等を試みる。
- ・ 見学の実施時期は 7 月に集中する傾向がみられ(全見学の 60%強)、後期はその集中は解消されていた。
- ・ 見学実施率は前期から後期にかけて低下する傾向(前期 69.8%→後期 38.7%)。
- ・ 被見学率は前期 62.8%、後期 65.9%。教員の 60%強は授業見学を経験できた。

3) FD研修会(学科 FD、学生参加型 FD 活動を含む)の実施

<FD 研修会> 外部講師の招聘や専任教員の協力を得た研修会の開催

- ・ 第1回 8/21(水)「多様な学生と分かり合うために」(特別支援委員会と共催、参加 48 名)
- ・ 第2回 3/12(水)「学生の学ぶ姿勢と学習意欲を高める授業設計」(FD 委員会主催、参加 45 名)

<FD café> 学内教職員によるワークショップ型、自主研修型の勉強会の開催

- ・ 第1回 6/26(水)「アドバイスください 教養 英語 A」(参加 14 名)
- ・ 第2回 12/3(火)「多様な学生と分かり合うためのチップスづくり」(参加 11 名参加)

<FD・SD 合同研修会、SD 研修会>

- ・ 第1回 FD・SD合同研修会 6/12(金)16:00-17:30「ハラスメント対応について」
- ・ 第2回 FD・SD合同研修会 9/13(金)14:00-15:40「多様性と包摂性のある社会の実現に向けて」
- ・ 第2回 SD 研修会 1/10(金)14:45-16:15「各部署を知る～総務課～」
- ・ 第3回 FD・SD合同研修会 3/ 5(金)14:00-15:30「考え方の幅を広げる力の高め方」

<学科 FD 活動、学生参加型FD活動>

- ・ 学生と協働した教育方法や内容に関する課題抽出を試みる学生参加型 FD 活動を実施した。
- ・ 学生との意見交換で明らかとなった課題について、その改善を意図した学科ごとの検討会を実施した。
- ・ 一部の学科では、参加学生が少なく、次年度の課題となった。

4) 外部研修会への参加の促進

- ・ 法人企画部やグローバルセンター、有志による各種研修会等の情報提供 (サイボウズ配信)
- ・ 研修会参加に関する経済的支援を予定したが、派遣実績ゼロとなった。

5) その他の活動

- ・ FD 活動に書籍購入による教職員の研鑽環境の整備
委員メンバーによる回覧学習会の実施と、授業改善等に関する書籍購入と貸出制度の再通知

【次年度に向けた課題】 R6年度の活動を振り返り、以下の点が次年度以降の検討課題となった。

- ・ 授業公開・見学における「見学実施率の向上」と、「見学実施回数の実数把握」
- ・ FD 研修会のテーマとして、「授業づくり」の継続と、「研究活動の促進」を視野に入れた計画実施
- ・ 全ての教職員の自己研鑽に資する活動、研修支援

以上